



YOUNG! 23

がんばる!ヤング
若者の元気は町の元気!
部活動などをがんばる
高校生や大学生を紹介します!

本間 倫子さん (19歳・昭辰町)
東京学芸大学2年、ソフトテニス部所属。本年10月には同部の主将に就任し、目標とする「関東学生リーグ3部優勝」に向けてチームをけん引します。

主将・中心選手として チームを高みに導く

本年10月に、東京学芸大学ソフトテニス部の主将に就任した本間さん。練習の合間には部員たちへのこまめな声かけを欠かさず行いながらも、練習中は真剣にプレーに向き合い、「普段は和気あいあいでも、締めるところは締める」という意識のもと、「勝てるチームの雰囲気」を大切にしながら5人の部員を率います。

本間さんがソフトテニスを始めたのは小学校4年のころで、以来、中学、高校と継続して競技に打ち込み、今年で11年目を迎えました。そのキャリアの中で、五城目第一中学校2、3年時には2年連続での東北大会出場、秋田高校2年時には全国規模の大会「ハイスクールジャパンカップ」の県予選で3位に入賞するなど、各

種大会で好成績を取ってきました。

高校卒業後は教育学部のある東京学芸大学に進み、教師を志して勉学に励む傍ら、「真剣に競技をやりたい」という想いで入部した女子ソフトテニス部での週3、4回ほどの練習に取り組みます。

本間さんが考える自身のプレーの特徴は、「ミスが少なく、自分からはミスをしない」という点で、正確で力強いサーブを軸に、常に試合の主導権を握ることを意識しながら戦います。また、「相手を走らせて、広く揺さぶって攻める」という戦い方を得意とし、左右の揺さぶりに加え、高さを変えた山なりのショットを織り交ぜながら、前後の揺さぶりも有効に使って戦略的に試合を進めます。

現在は、同チームが所属する「関東学生リーグ3部」での優勝を目標

に掲げて練習に励み、本間さんは、「少し前まではリーグ最下位のチームだったが、直近では6校中3位の成績を取め、チームに自信が生まれた。チーム全体でもっとサーブ・レシーブを強化し、目標とする優勝に向けみんなで頑張っていきたい」と、今後の抱負を話しました。



郷土料理「だまこ鍋」の
味と伝統を受け継ぐ

輝け!五城目びと

五城目町米消費拡大地域活動推進委員会

発足から50年以上の歴史がある「五城目町米消費拡大地域活動推進委員会」。当初は、会員それぞれが米を使ったメニューを考案し、町民向けの講習会を通じてそのレシピや作り方を参加者に共有するなど、米料理の普及や米の消費拡大に向けた取り組みを行っていました。

発足当時から同委員として活動し、現在会長を務める齊藤妙子さん(78歳・矢場崎)は、「近年は五城目の郷土料理『だまこ』を通じて、たくさんのご縁が生まれている」と話すように、町内外の小中学校、高校でのだまこ鍋教室、朝市まつりをはじめ各種イベントでだまこ鍋の販売を行うなど、精力的に活動し

ています。また、平成23年には、京都府で開催された「全国ご当地鍋フェスタ」で、見事準グランプリを獲得し、その味や名を全国に轟かせました。

齊藤さんは、「準グランプリの受賞は、先輩方の努力が詰まった自慢のスープの味などが認められての結果だと思っています。最近ではコロナ禍でイベントが次々と中止になり、皆さんにだまこを振る舞える機会が少なくなりましたが、10月のきのこまつりの際は大雨にも関わらず、たくさんの方が列を作り、『ずっと楽しみにしていた』などの声をいただき、とても励みになりました。今後も伝統の味を皆さんにお届けできるよう頑張っていきたいです」とお話ししていました。

ゾーイの ごじょうめ日記



Zoe Fell (ゾーイ・フェル)
イギリス・パークシャー出身。
本年8月から、町の外国語指導助手
(ALT)に着任しました。

秋田の自然を満喫!

Last month, I got to enjoy the Autumn season. I went to Kakunodate and Dakigaeri Valley. I ate Dango for the first time. It was grilled over a flame, and really delicious. I also bought some Shiro Dashi- I am looking forward to cooking delicious nabe.

I feel really grateful to live in Akita-ken. I live in a big town in the UK, and there are not many green spaces. It felt refreshing to be able to walk around the mountains in the fresh air. I have never seen so many vibrant reds, oranges and browns. It was a special experience. Now, I am preparing for the snow which I hear will be coming soon. Until then!

先月は、秋の行楽シーズンを存分に楽しみました。角館や抱返り渓谷に行き、初めて団子を食べました。香ばしく焼かれた団子はとてもおいしかったです。白だしも買ったので、おいしい鍋料理を作りたいです。

時々ふと、秋田での暮らしがとても幸せなことだと感じます。イギリスにいたころは大きな街に住んでいたため、あまり緑地や自然がありませんでした。山を歩いて澄んだ空気を吸うととてもリフレッシュでき、また、色鮮やかな紅葉は今までは見ることがなかったので、毎日が新鮮です。そろそろ雪が降るそうなので、冬への備えを万全にしたいと思います。また来月お会いしましょう!



ごじょうめの 文芸

「短歌」
木の実たち熟れて落葉に埋もれたり
春は芽吹かむ二世やいかに
静かなる深夜目が覚めラジオから
懐かしき曲に夜なごみゆく
岡本 二方 征捷
睨る日の叶わぬひこばえ緑葉に
覗きし幼穂が木枯らしに揺るる
浦横町 大宮 一郎
秋深み茄子の漬物おすそ分けに
古川町 小濱 キエ
「俳句」
佳き日ですこの身に溢る文化の日
湯ノ又 畑澤トミ子
秋きじのやわき草分く小道かな
広ヶ野 三浦テツ子
空の青ネコバリ岩の紅葉かな
寺庭 石井 テツ
「川柳」
朗報を聞いて涙が出る不思議
下山内 石井 風香
一枚の切手で旅は自由席
八郎瀉町 小柳 文子
彼岸入りおはぎ持参の家族連れ
長町 斎藤すすむ
想い出の中に私の駅がある
館町 細田 陽炎